

問1 中部地方の農業について、東海地方で盛んに行われている農業の特色と、その代表的な生産地である半島名の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鳥取公立入試 類似）

1. 渥美半島における施設園芸農業 2. 房総半島における施設園芸農業 3. 渥美半島における米の二期作 4. 能登半島における果樹栽培と酪農

問2 中部・北陸地方の日本海側に位置する県のうち、かつての「加賀国」にあたる地域に立地し、江戸時代に形成された城下町を起源とする現在の石川県の県庁所在地はどこか、次の中から選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 金沢市 2. 富山市 3. 福井市 4. 新潟市

問3 中部地方の内陸部、岐阜県に位置する白川郷では、急傾斜の茅葺き屋根を特徴とする「合掌造り」の家屋が見られます。この地域でこのような独特の建築様式が発達した理由として、自然環境の面から説明した次の文のうち、最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため 2. 台風の通り道にあたるため、激しい風雨に耐えられるよう屋根の面積を広げて安定させるため 3. 夏季の高温多湿な気候において、屋根裏の通気性を高めて室内の温度上昇を抑えるため 4. 山間部で土地が狭いため、屋根を高くすることで居住スペースを垂直方向に広げるため

問4 愛知県は日本最大の製造品出荷額を誇る県ですが、その工業出荷額の内訳において、自動車産業などの機械工業を含む「重工業」の占める割合が非常に高いという特徴があります。この愛知県を中心として発達している、日本を代表する工業地帯の名称として適切なものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 中京工業地帯 2. 京浜工業地帯 3. 阪神工業地帯 4. 瀬戸内工業地域

問5 愛知県は日本最大の自動車工業地帯を擁していますが、瀬戸市の伝統産業である陶磁器の技術が、現代の自動車工業にどのように貢献しているといえますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2025年 滋賀公立入試 類似）

1. 陶磁器の成形・焼成技術を発展させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。 2. 陶磁器の絵付け技術を応用し、自動車の車体における繊細な塗装工程を担っている。 3. 粘土の採掘で培った土木技術を利用して、自動車工場の敷地造成を行っている。 4. 伝統的な職人の徒弟制度をモデルにして、自動車工場の効率的な労働管理を行っている。

問6 福井県鯖江市の眼鏡産業のように、かつて積雪が多く農作業ができない「農閑期」に、農家の「副業」として始まった地場産業が、都市部から離れた地域でも大きく発展した理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため 2. 鉄道の開通により、大消費地である東京や大阪へ短時間で出荷できたため 3. 原料となる鉱物資源や燃料となる木材が、その地域付近で豊富に採れたため 4. 海外から安価な製品が大量に輸入され、その加工技術が直接伝わったため

問7 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曾山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。 2. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。 3. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。 4. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。

問8 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため 2. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、冬でも湿った空気が流れ込みやすいため 3. 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため 4. 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起こりにくいから

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
渥美半島における施設園芸農業
- 愛知県の渥美半島では、太平洋側の温暖な気候を背景に、ビニールハウスや温室などの施設を活用して花や野菜を栽培する「施設園芸農業」が非常に盛んです。特に菊の成長を光で調節する電照菊の栽培は全国的に有名です。房総半島は千葉県（関東地方）に位置し、米の二期作はかつての高知県などで見られた形態です。また、能登半島は北陸地方に位置するため、東海地方の説明としては不適切です。
- 問2** **答え 1**
金沢市
- 石川県の県庁所在地である金沢市は、江戸時代に加賀藩の城下町として発展した歴史を持ちます。北陸地方の日本海側に位置する都市の中でも、大規模な城下町の構造が現在の都市基盤にも影響を与えている代表例です。富山市は富山県、福井市は福井県の県庁所在地であり、それぞれ異なる歴史的経緯を持っています。
- 問3** **答え 1**
冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため
- 白川郷は日本有数の豪雪地帯であり、冬には数メートルもの雪が積もります。合掌造りの急な屋根（約45度から60度）は、雪が滑り落ちやすくすることで屋根にかかる荷重を減らし、家屋の倒壊を防ぐ合理的な構造になっています。また、広い屋根裏を利用してかつては養蚕（蚕を飼うこと）が行われていたことも、この建築様式が維持された歴史的背景にあります。
- 問4** **答え 1**
中京工業地帯
- 愛知県は豊田市を中心とした自動車産業の集積が著しく、輸送用機械などの重工業が県全体の工業を牽引しています。この地域一帯は中京工業地帯と呼ばれ、1977年以降、日本で最も出荷額の多い工業地帯としての地位を確立しています。他の工業地帯と比較しても、機械工業の割合が際立って高い点が大きな特徴です。
- 問5** **答え 1**
陶磁器の成形・焼成技術を発展させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。
- 瀬戸市の地場産業である陶磁器生産には、原料となる鉱物の配合や、高温で焼き固める高度なノウハウが蓄積されています。これらの伝統技術を科学的に進化させることで、金属よりも熱に強く摩耗しにくいファインセラミックスが生み出されました。これが同じ愛知県内で盛んな自動車工業において、エンジンの点火プラグや排気ガス浄化用センサーなどの重要部品として活用されることで、地域の産業が密接に連携しています。
- 問6** **答え 1**
雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため
- 北陸地方などの多雪地域では、冬の間には農作業ができない農閑期が存在します。この期間の農民の労働力を副業として活用することで、都市部に比べて賃金が安い（安価な労働力）という利点を生かし、地場産業が成立・発展しました。鯖江市の眼鏡産業も、当初はこのように農家の冬の仕事として広まったものです。現在は、より人件費の安い発展途上国との価格競争が課題となっています。
- 問7** **答え 1**
飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。
- 木曾山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
- 問8** **答え 1**
暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため
- 太平洋側の気候が冬に温暖なのは、沿岸を流れる暖流の黒潮が空気の温度を下げにくくしていることや、冷たい北西の季節風が険しい山脈（日本アルプスなど）に遮られ、乾燥した暖かい風として吹き降りしてくることが主な要因です。対照的に、日本海側では暖流の対馬海流の影響で雪が降りやすくなります。